

# FICoN第7回ウェブ検討会 (R5.6.14)

## ○ J-クレジットにおける森林・木材分野の取り組み

### <講演>

- 「J-クレジット制度における森林・木材の取り扱い」 元日本大学教授 丸山 温氏  
「下川町におけるこれまでのカーボンオフセットの取り組み」 北海道下川町 山本 敏夫氏  
「需要家ニーズを満たし森林経営課題解決にも資するJ-クレジット等の在り方」  
ブルードットグリーン(株) 八林 公平氏  
「オフィスにおける木材活用とJ-クレジットの可能性」 (株)イトーキ 小島 勇氏

### <総合討論> (司会)筑波大学 立花 敏氏、(パネリスト)上記講師の皆様

#### 【ポイント】

- ・ J-クレジットについては、適切に管理された森林の吸収量がクレジット化され、金銭的価値を生むことから、林業再生や経済活性化を図る山村地域で大きな期待。
- ・ 制度面では昨年度、追加性や排出・吸収量の算定、伐採木材に関する見直し等を実施。活用面では、手間・コストや価格面のハードルがあり、付加的価値を需要者に認めてもらう取組が重要。
- ・ 下川町では、足寄町、滝上町、美幌町と連携し、2008年からクレジット販売。その実績(計1億8961万円)に加え、オフセットを通じた企業等との新しい繋がりというメリットも。
- ・ 需要家ニーズの観点からは、購入のタイミングやポートフォリオや踏まえた付加的価値や価格設定、手続きの簡素化、消費者への小口化を通じた販売など差別化やそのアピールが重要。
- ・ オフィスでの木材利用については、利用者へのプラスの効果が分かってきたところであり、炭素固定量などに関するインセンティブがあればさらに利用が進むと思われる。